

決算説明会

2024年3月期

2024年5月21日

株式会社 大真空（証券コード：6962）

代表取締役社長 飯塚 実



2024年3月期 通期実績

増収減益

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
			増減	増減率
売上高	38,430	39,343	913 ↑	2.4%
営業利益	4,210	2,135	△ 2,075 ↓	△ 49.3%
経常利益	5,106	3,192	△ 1,914 ↓	△ 37.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,208	1,876	△ 1,332 ↓	△ 41.5%
USD平均レート（円）	135.50	144.59	9.09 ↑	

用途別販売実績（前期比）

車載向け堅調
通信は回復基調

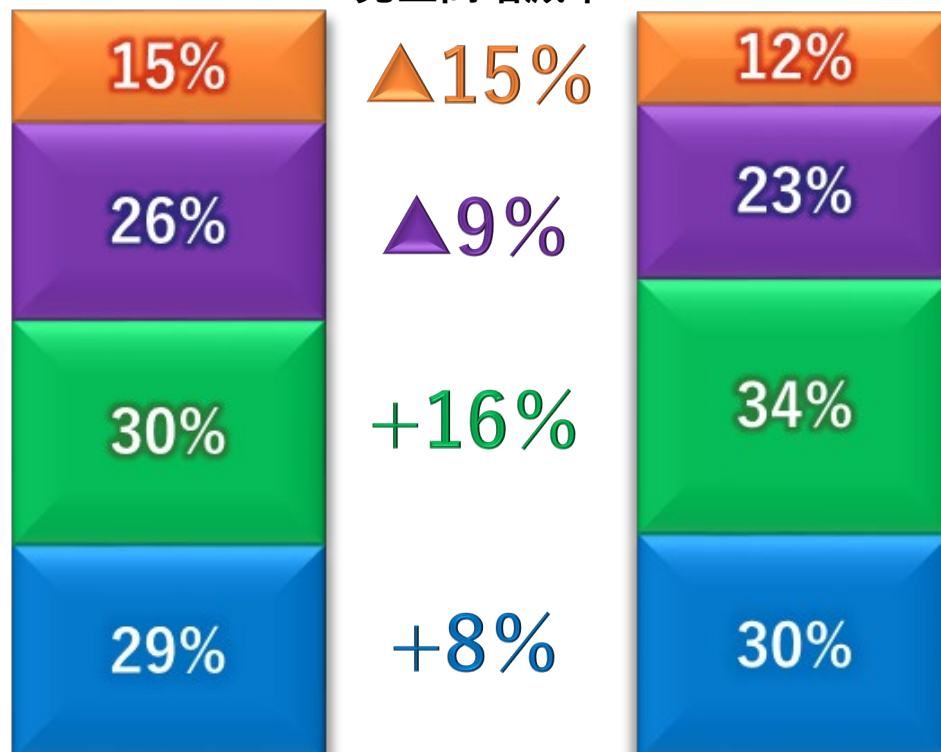
2023年3月期

384億円

売上高増減率

2024年3月期

393億円



(構成比)

(構成比)

産業



FA/ロボット向けが設備投資抑制の影響で需要が低迷

民生



2023年3月期 1-3月にボトムは打ったが底這い圏で推移

車載



員数増や挽回生産などにより堅調に推移

通信



中国スマホを中心に回復ボトムアウトが鮮明に

営業利益増減分析（前期比）

2023年3月期

△2,075百万円

2024年3月期

営業利益
4,210百万円



価格変動
(為替影響含む)
△2,600百万円

ミックス変化
販売数量
生産数量
限界利益の変動
(為替影響含む)
+630百万円



製造部門
労務費／減価償却費
の減少など
固定費変動
+110百万円



間接部門
人件費／減価償却費
一般管理費の増加など
販管費他の変動
△220百万円



営業利益
2,135百万円



2024年3月期 四半期実績

減収増益

単位：百万円	2024年3月期				直前四半期比 増減
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
売上高	9,318	10,014	10,353	9,658	△ 695 ↓
営業利益	518	383	585	649	64 ↑
経常利益	1,052	925	△ 117	1,332	1,449 ↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	439	952	△ 234	719	953 ↑

用途別販売実績（直前四半期比）

中華圏春節の影響が顕在化

10-12月
103億円

1-3月
96億円

売上高増減率

▲17%

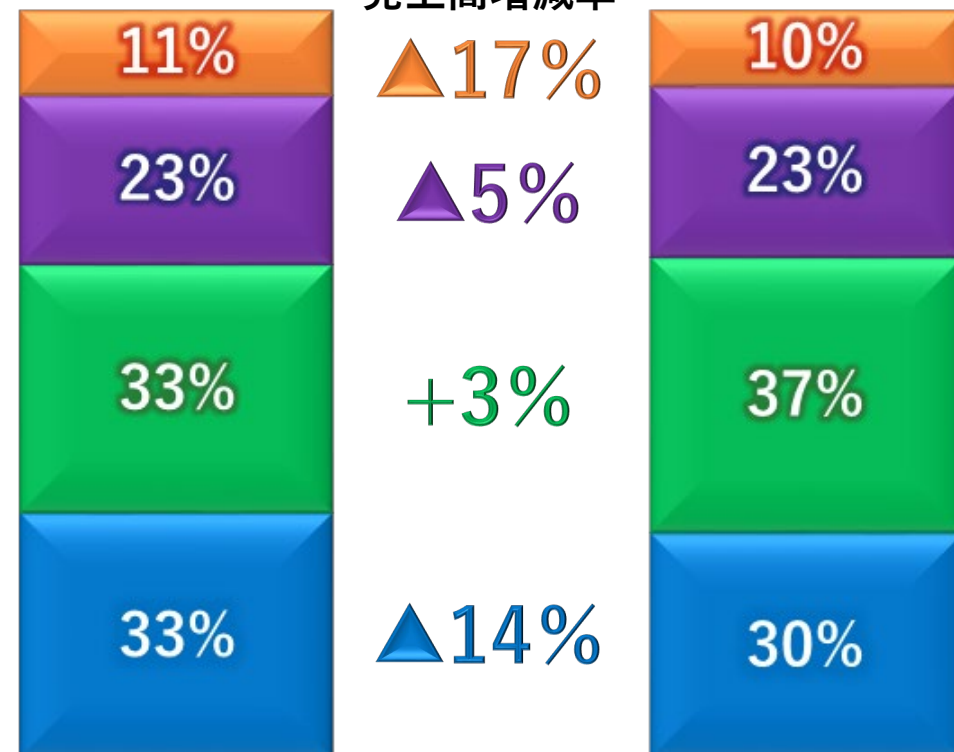
▲5%

+3%

▲14%

（構成比）

（構成比）



産業



設備投資の抑制や
部品在庫の調整が継続

民生



PC向けは回復基調にあるものの
春節の影響によりダウン

車載



地域別に温度差があるものの
全体として堅調に推移

通信



中国スマホにおいて一定の動き
が継続するも春節の影響により
ダウン

営業利益増減分析（直前四半期比）

2024年3月期
10-12月

+64百万円

2024年3月期
1-3月

営業利益
585百万円

価格変動
(為替影響含む)
+0百万円

製造部門
期末決算処理など
固定費変動
+50百万円

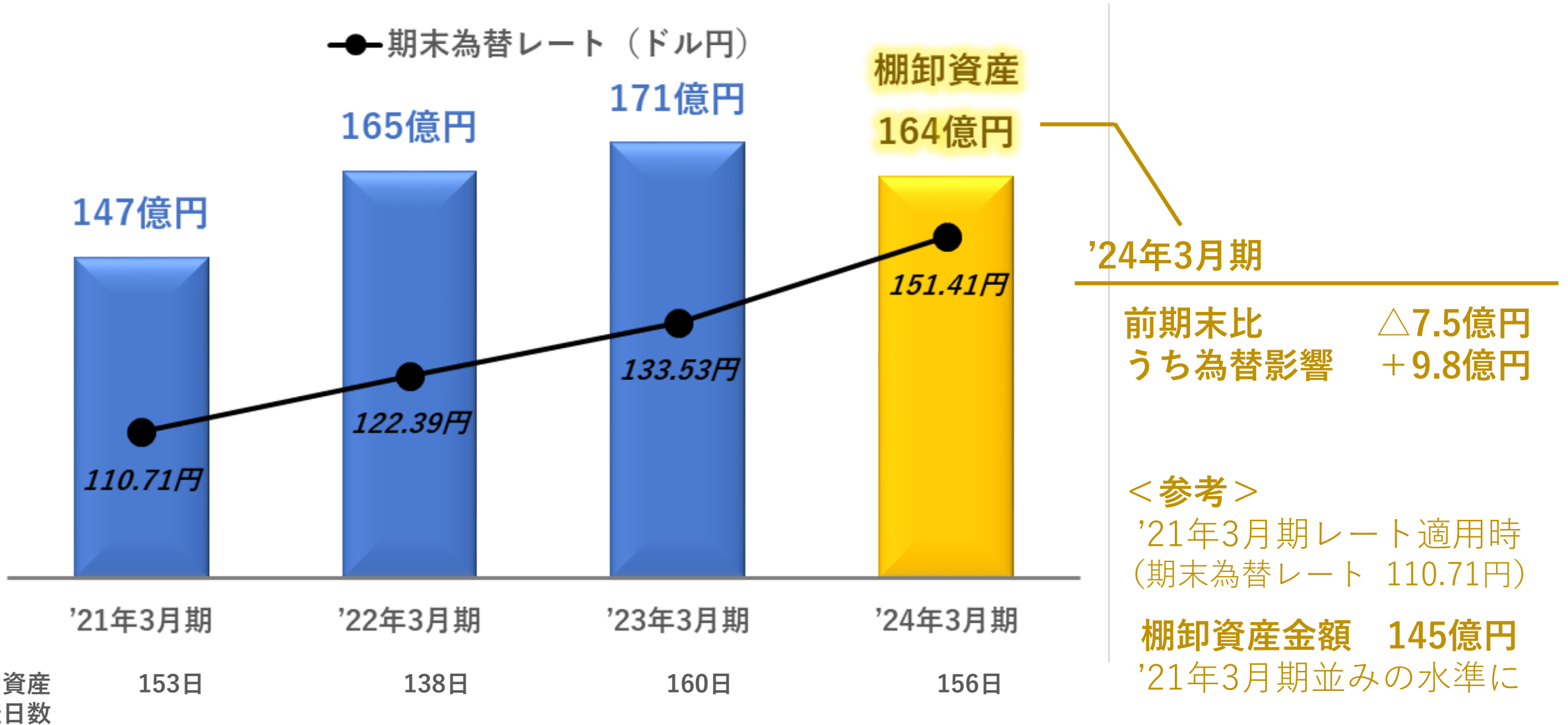
間接部門
役員賞与／研究開発費
の減少など
販管費他の変動
+70百万円

営業利益
649百万円

ミックス変化
販売数量
生産数量

限界利益の変動
(為替影響含む)
△60百万円

棚卸資産推移



2025年3月期 通期業績予想

増収減益

単位：百万円

2024年3月期

2025年3月期

増減

増減率

売上高	39,343	40,000	657 ↑	1.7%
営業利益	2,135	1,500	△ 635 ↓	△ 29.7%
経常利益	3,192	1,000	△ 2,192 ↓	△ 68.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,876	500	△ 1,376 ↓	△ 73.3%
棚卸資産	16,414	16,400	△ 14 ↓	△ 0.1%
ROE	5.0%	1.3%		
ROIC	1.9%	1.3%		
USD平均レート（円）	144.59	145.00		

2025年3月期 用途別販売計画

車載向け

4期連続過去最高売上 更新予定

2024年3月期
393億円

2025年3月期
400億円

売上高増減率
▲10%

+1%

+5%

+3%

12%

23%

34%

30%

11%

23%

35%

30%

(構成比)

(構成比)

産業



設備投資抑制の影響に加え
部品在庫の調整が継続し
前期比10%減

民生



PC向けやSSDを中心に
緩やかな回復傾向にあり
前期比増

車載



ADAS向けやEV向けの増加により
堅調に推移し前期比増

通信

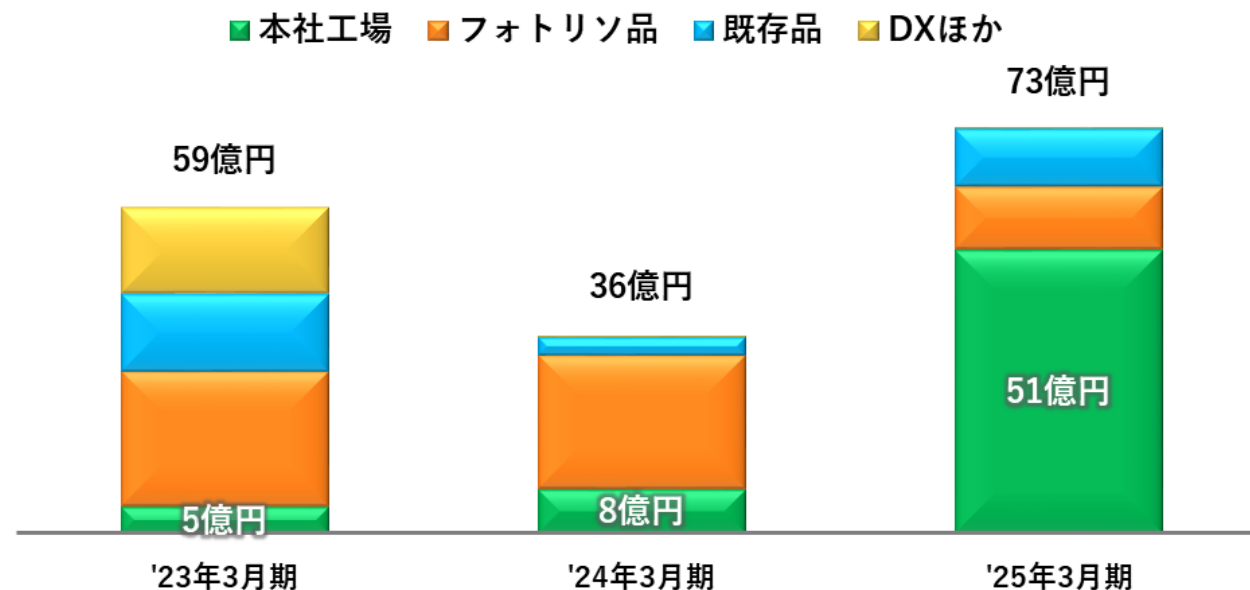


中国スマホが回復傾向にあり
前期比増

設備投資／減価償却費／研究開発費

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	増減
設備投資	5,913	3,613	7,300	3,687
減価償却費	3,993	3,941	4,500	559
研究開発費	2,205	2,170	2,500	330

設備投資の内訳



本社工場（建設中）



営業利益増減分析（通期業績予想）

2024年3月期

△635百万円

2025年3月期

ミックス変化
販売数量
生産数量

限界利益の変動
+2,240百万円

営業利益
2,135百万円

価格変動
△2,070百万円

減価償却費の増加
△550百万円

人件費／労務費の増加
△250百万円

営業利益
1,500百万円

第二次中期経営計画 2024年度～2026年度

『OCEAN+2戦略』は

第二次中期、基盤確立フェーズへ

第一次中期 マテリアリティへの取組み

重要課題

ウェハ大判化

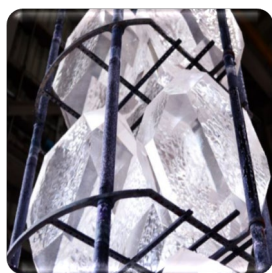
新生産方式

Ark開発

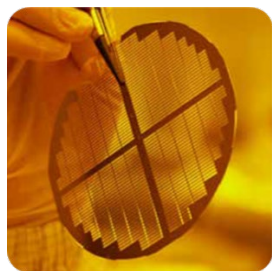
解決策

安定供給と環境対応の両立

大型水晶原石育成
(世界最大級)

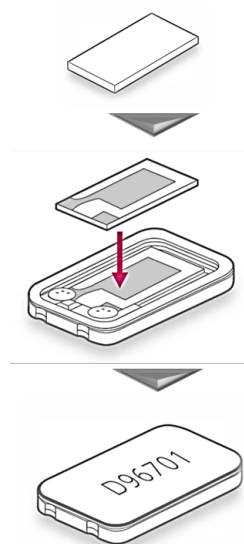


6インチウェハ
量産目前



計画通り

従来工法

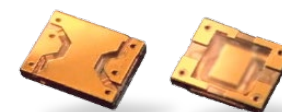


量産体制確立

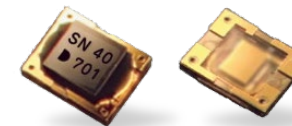
Ark 工法



Ark 水晶振動子

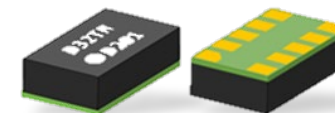


Ark 水晶発振器



モールド発振器
(CMOS/差動/RTC)

Ark振動子、または従来振動子を内蔵

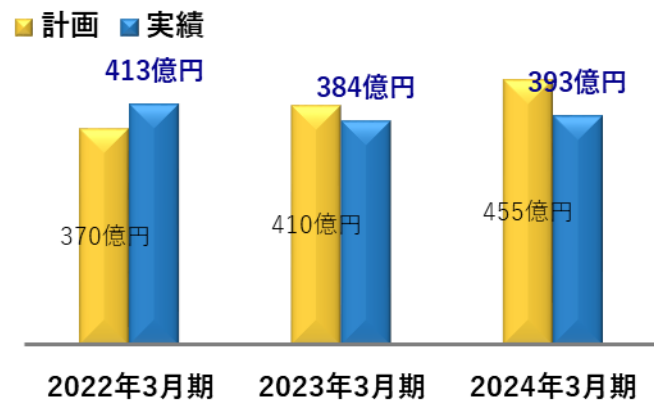


第二次中期、本格展開

単位面積当たり
アウトプット最大化

第一次中期 経営成績

売上高

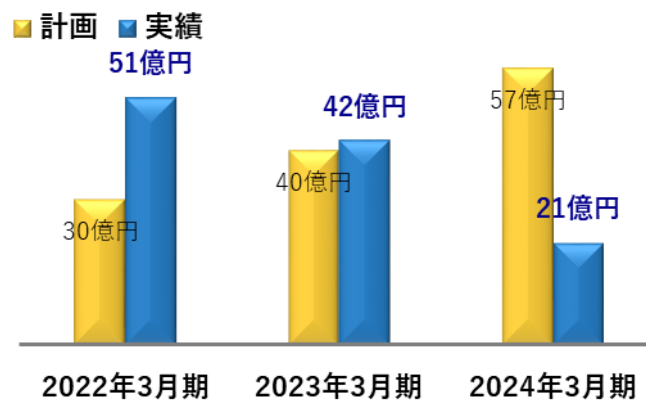


計画達成率：3カ年累計

96 %

中国の販売依存度が高く、
業績に大きく影響
2年目以降、失速

営業利益



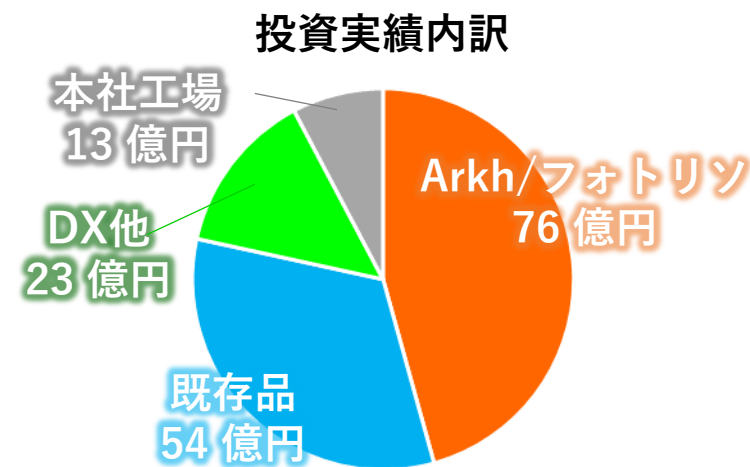
計画達成率：3カ年累計

90 %

初年度に過去最高益達成
以降、マーケットの影響で
稼働率低迷で苦戦

設備投資

3カ年累計
計画 200億円 以上
実績 166億円



成長に必要な投資は実行

第二次中期 重点施策

行動指針

製品 を変える10年

生産 を変える10年

長期経営計画 OCEAN+2戦略

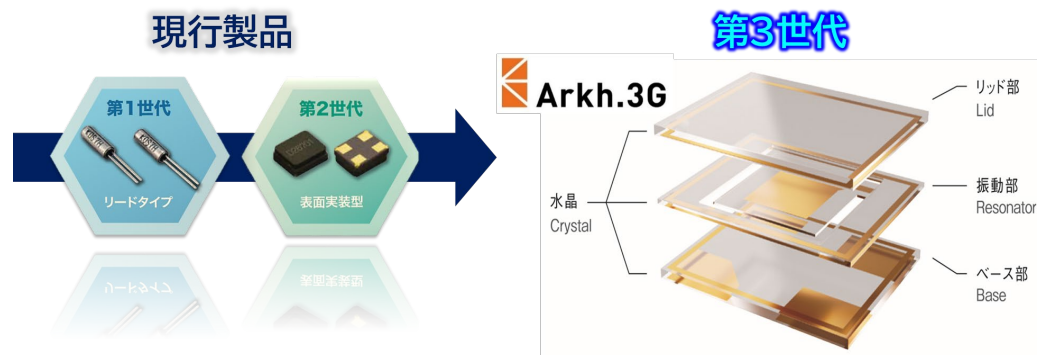
次期長期経営計画



第一次中期
「製品を変える」
準備は、ほぼ完了

第二次中期
現行長期「製品を変える」刈取り
次期長期「生産を変える」準備の
本格的始動

次期長期
日本人口の1/3は 65歳以上(2030年)
環境負荷の増大
「生産を変える」ことが必須



安定供給と環境対応による成長へ

第一次中期

安定供給と環境対応
両立

第二次中期

安定供給と環境対応
成長

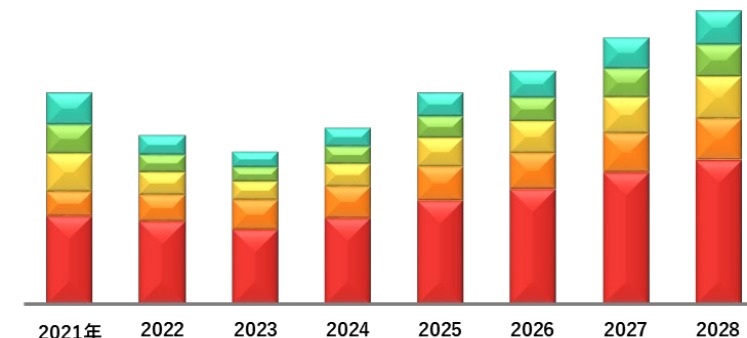
単位面積当たりアウトプット最大化

一人当たりアウトプット最大化

設備投資最小化 ・ 経費最小化

水晶デバイス数量予測 単位：億個

■ 通信 ■ 車載 ■ 民生 ■ コンピュータ ■ 産業



(市場調査資料等より弊社推定)

単位面積当たりアウトプット最大化

これまで（従来の生産方式を継続）

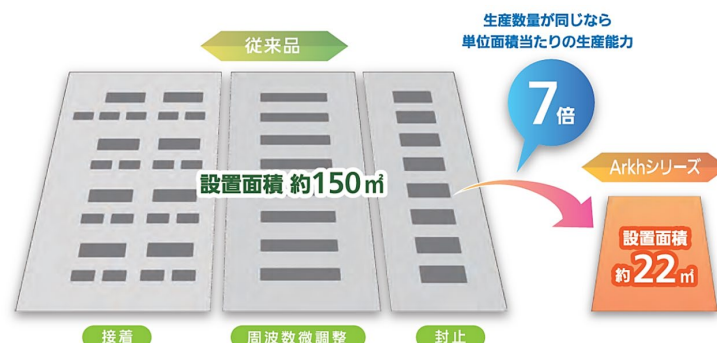


多額の投資
増床・新工場建設
生産人員確保
CO2排出量増加

環境対応が出来ない

同じ数を生産するのに必要な工場数

これから（オリジナル生産方式）



- ウエハ大判化によるチップ取れ数UP
- ウエハレベルパッケージ技術により設備の設置面積最小化
- 生産性向上 & CO2排出抑制

一人当たりアウトプット最大化

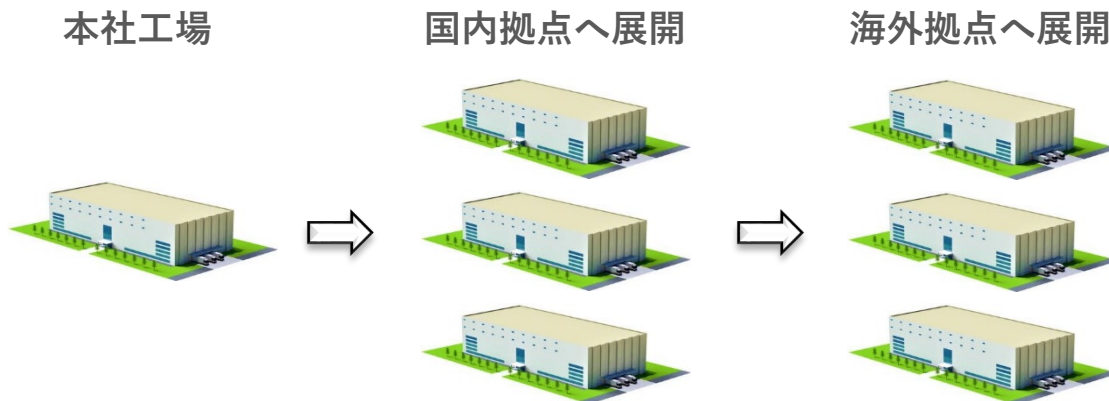
本社工場



ヒートポンプ及び環境価値電力100%導入
当社初のカーボンニュートラル工場
(Scope1/Scope2) 2024年8月竣工予定

工場エリア

次世代フルオート生産のパイロットライン導入



執務エリア

- ・拠点集約により業務の重複を無くす
- ・コミュニケーション活性化
- ・KDSオリジナルDX推進
- ・余裕創出から新たな価値創造

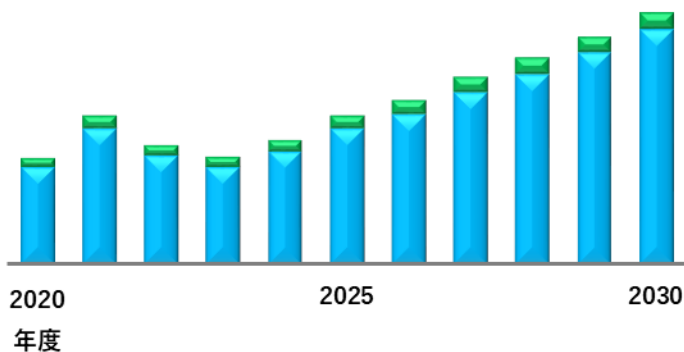
人員を増やさず、売上を増加させる

所得向上 やりがい 余裕により、全社員の瞳が輝く企業を目指す

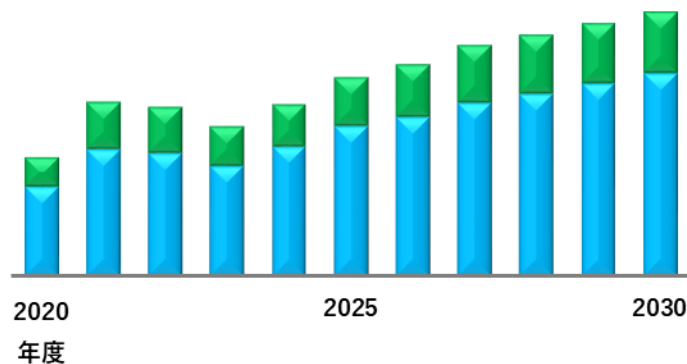
水晶デバイス市場動向

■ 水晶振動子 ■ 水晶発振器

数量予想



金額予想



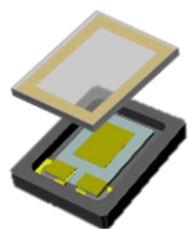
水晶発振器の金額割合が高まる見込み

(調査会社資料を基に当社推定)

水晶発振器市場拡大の背景

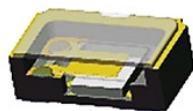
- 膨大なデータ伝送に、高周波が必要
- ADAS、衛星通信等 広範囲な温度環境でも高精度・高安定が必要

水晶振動子



水晶ブランク
+ セラミック
パッケージ
+ リッド

水晶発振器



水晶振動子にIC実装

ICの役割り

- 発振回路内蔵
- 高周波に伴うノイズ除去
- 広範囲な温度補正

水晶発振器 KDSシェア



現状 約15%



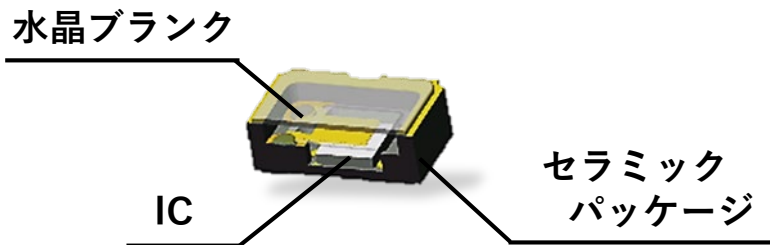
目標 50%以上

(当社推定)

さらなる競争優位性が必要

Ark.2G (開発コードネーム) 構想

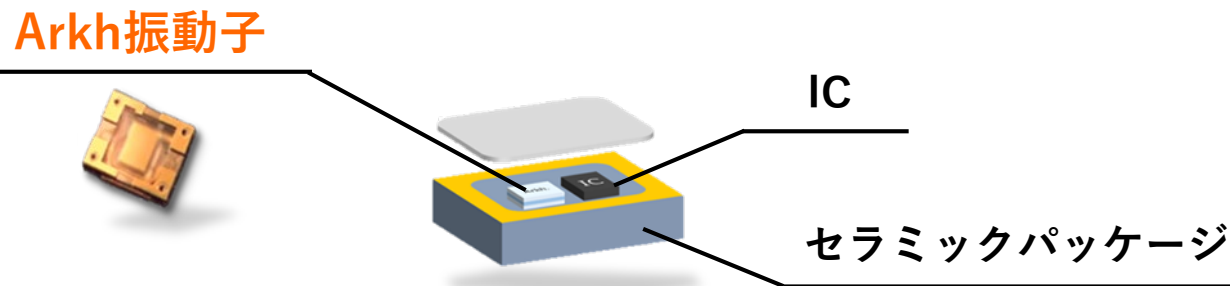
従来品 (水晶発振器)



- 水晶ブランク側の調整が必要
- 組立工数が多く歩留ロスが発生
- 製造エリア、人員が必要
- 増産に多額の投資

※Ark.2Gとの比較

Ark.2G構想



- 従来品と同じ外観 中身だけを変えた新製品
 - Ark.振動子を内蔵することで 信頼性向上
 - KDS独自の製品設計 高い価格競争力を実現可能
- 検査済み振動子搭載により 歩留ほぼ100%を実現
 - 同じ設備で各種サイズに対応可能
 - 最終検査の概念を変えることが出来、投資抑制が可能

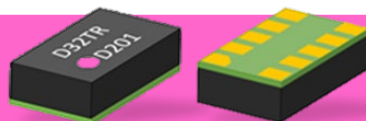
単位面積当たりアウトプット最大化が可能

アジアマーケット	➡	価格競争力
欧米マーケット	➡	高信頼性対応

Arkシリーズ 第二次中期展望

自社デバイス
内蔵

モールド発振器

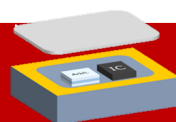


モールド発振器

拡販

サンプル対応、量産準備
通信・民生市場向け

コードネーム
Ark.2G



セラミックPKG発振器

拡販

サンプル対応、量産準備
車載市場向け

顧客半導体
内蔵

 Ark.3G



IC内蔵

販売

お客様との最終調整段階

コードネーム
Ark.6G

開発中

高周波振動子 IC内蔵 or Arkh単体

開発

順次、周波数拡張
コヒーレント光通信向け

顧客基板
搭載

 Ark.3G



Arkh単体

販売

量産・販売段階

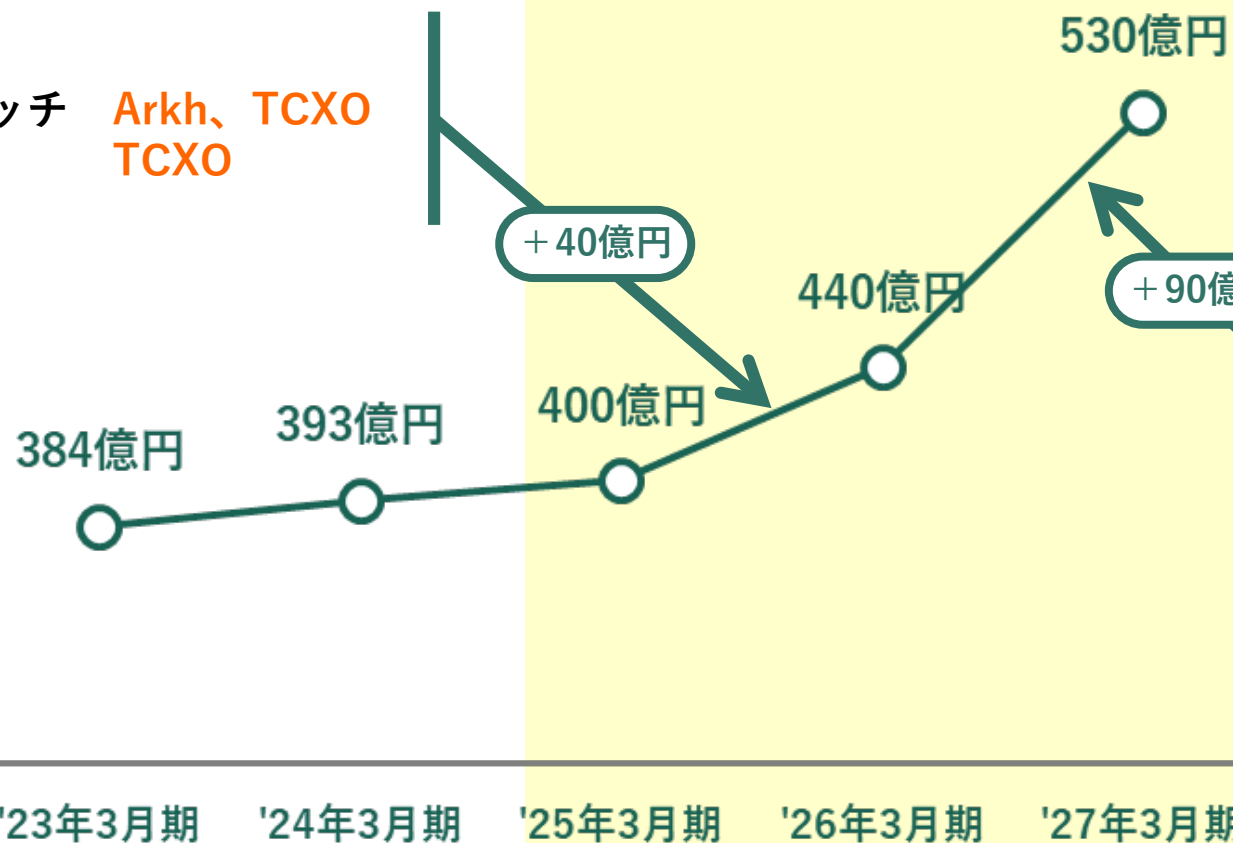
第二次中期販売計画

水晶発振器市場拡大 と Arkh構想 を軸とした販売計画

通信

スマートウォッチ
衛星通信

Arkh、TCXO
TCXO



通信

UWB/WiFi

Arkh

車載

ADAS

差動SPXO、RTC

UWB

TCXO

情報

AIサーバー

モールドSPXO

民生

スマートタグ

Arkh

VRゴーグル

SPXO

'27年3月期フォトリート率目標 26%

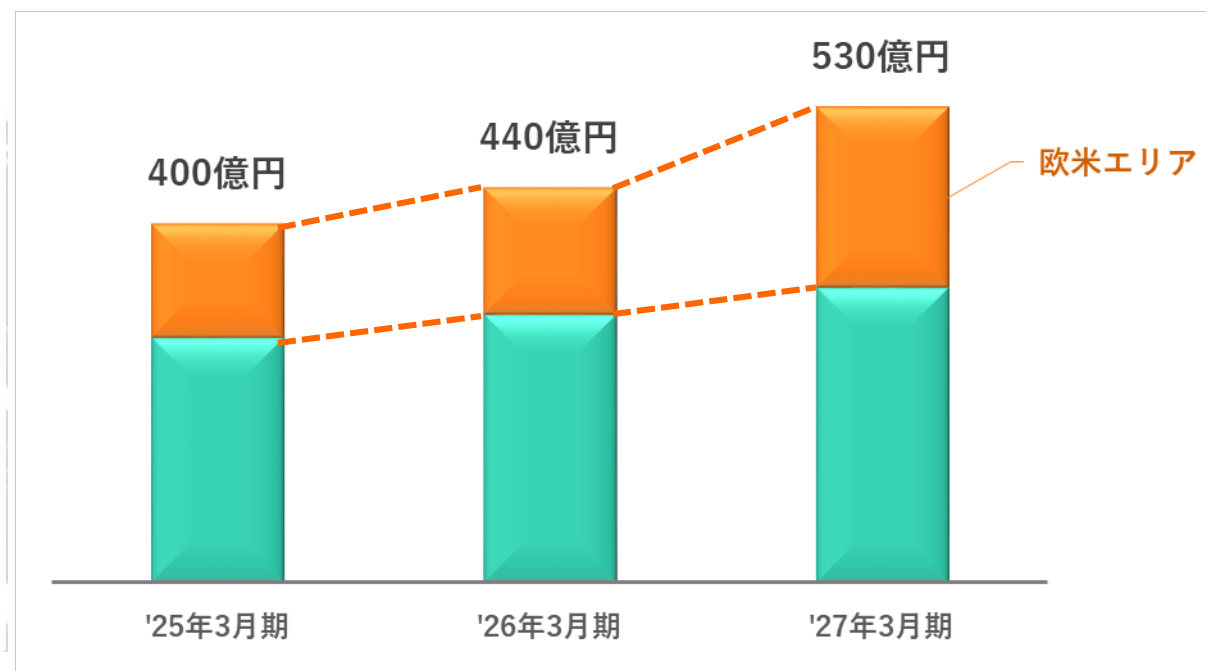
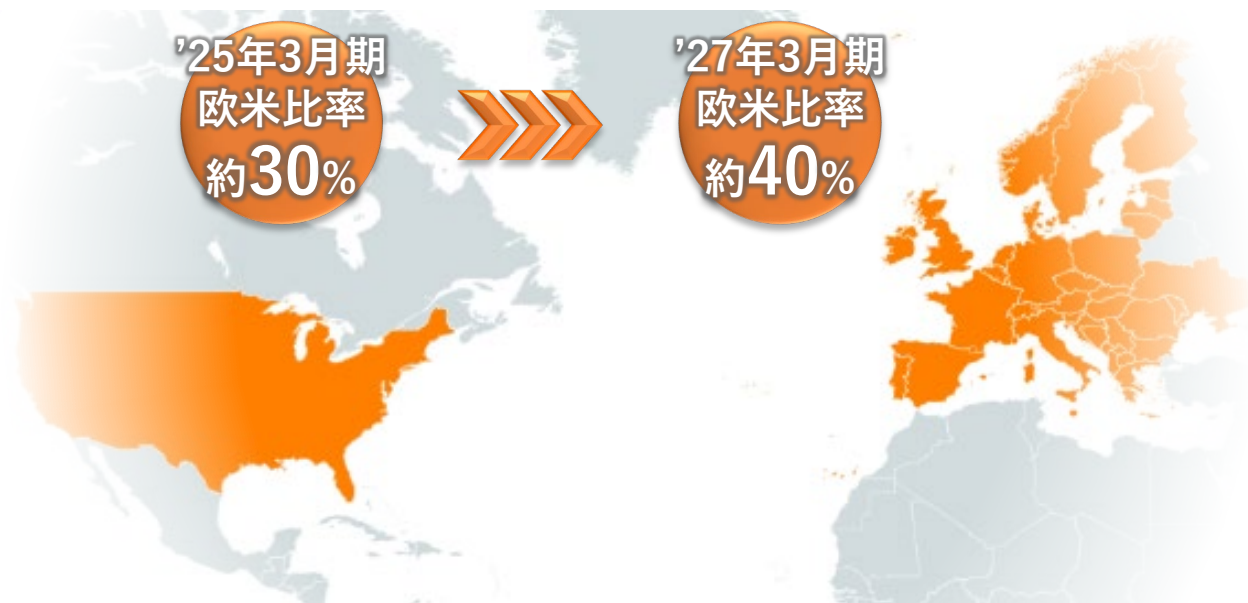
デザインイン拠点計画

欧米エリア向け販売比率UP

AIサーバ、自動運転等、
開発拠点は欧米エリアに集中

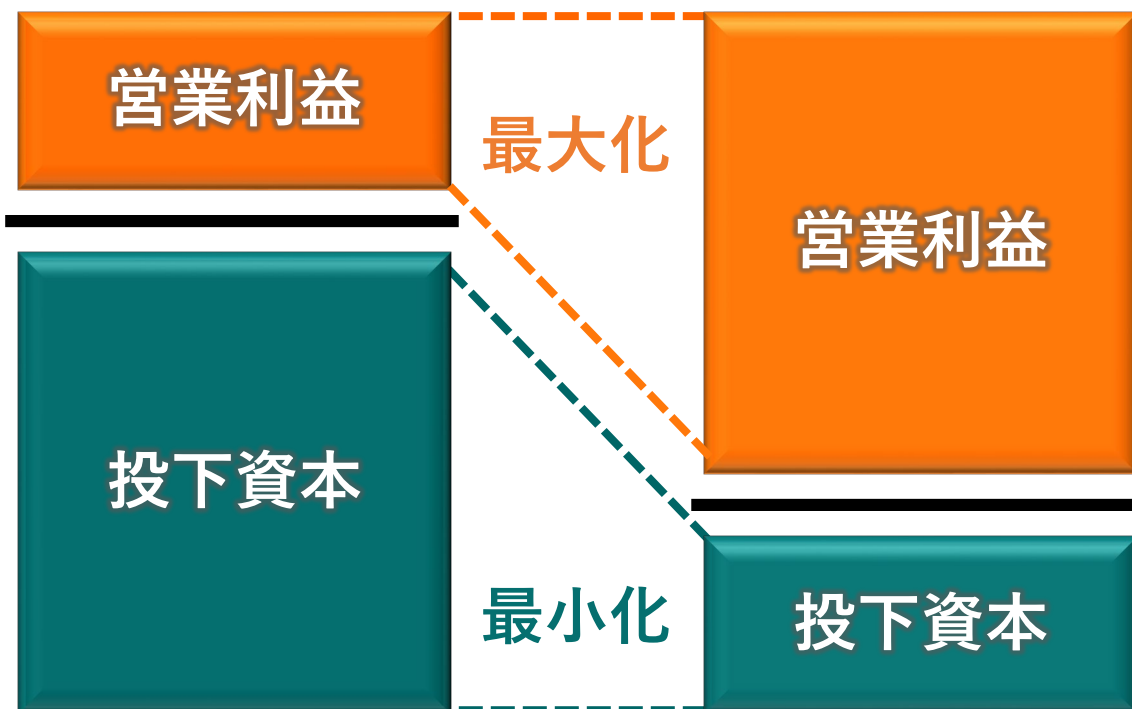
FAE増員による営業活動支援
回路調査機能を各拠点到配置

水晶発振器、Arkhシリーズ
拡販での販売比率UP
(地政学リスク、経済情勢にも配慮)



第二次中期 施策まとめ

安定供給 と 環境対応 両立から成長へ



最大化の追求
単位面積当たりアウトプット
一人当たりアウトプット

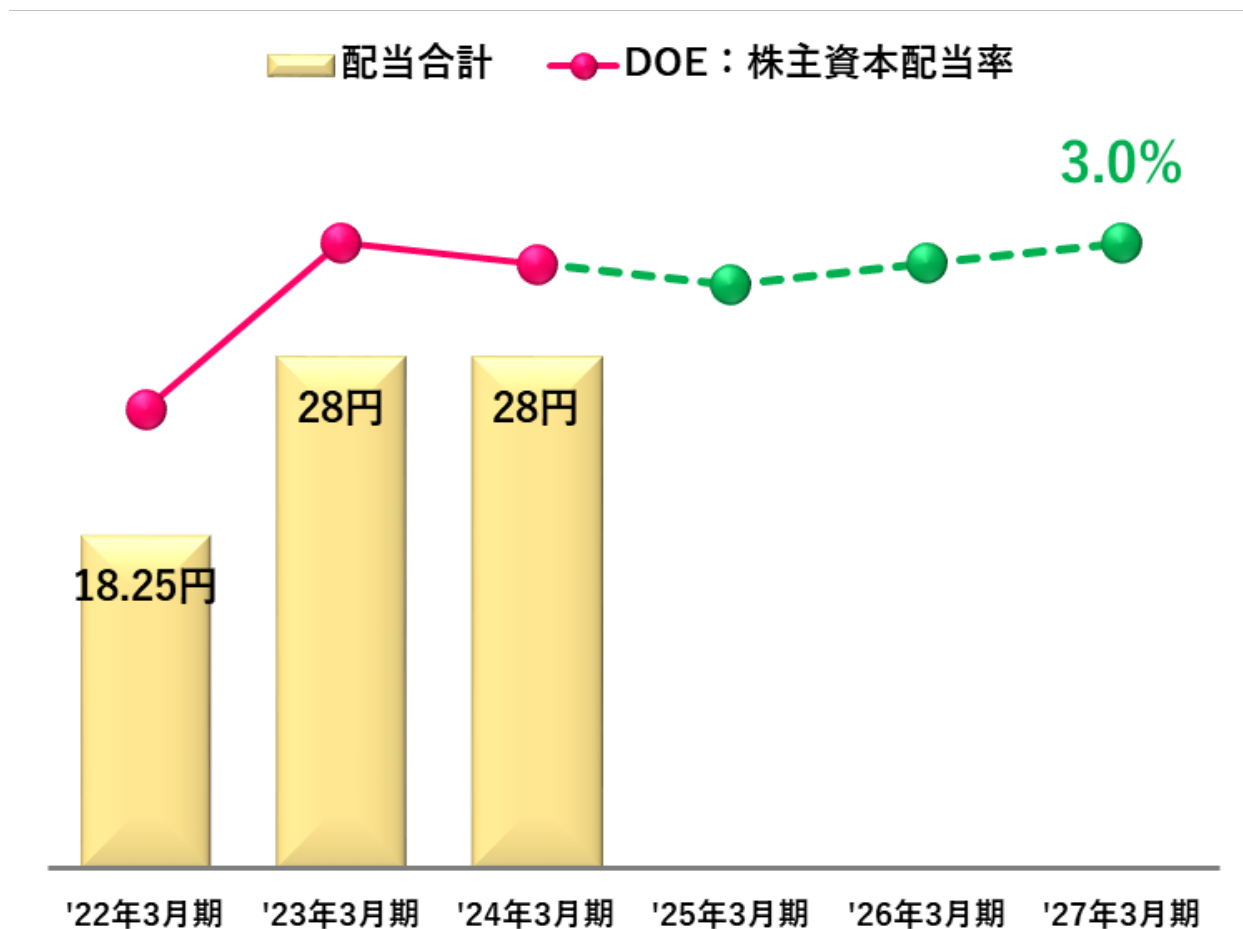
最小化の追求
設備投資・経費の効率化

ROIC最大化

ROIC改善イメージ

第二次中期 配当政策

3年間のDOEミニマム値を設定



'25年3月期～'27年3月期 配当方針

DOE ミニマム 2.8% とし
最終年度 3.0% を目指す

第二次中期 数値計画

単位:億円	'25年3月期	'26年3月期	'27年3月期
売上高	400	440	530
営業利益	15	32	55

USD想定レート	¥145	¥140	¥135
----------	------	------	------

設備投資（3カ年累計） 150

※Ark/フォトリソ66億円、既存品33億円、本社工場51億円

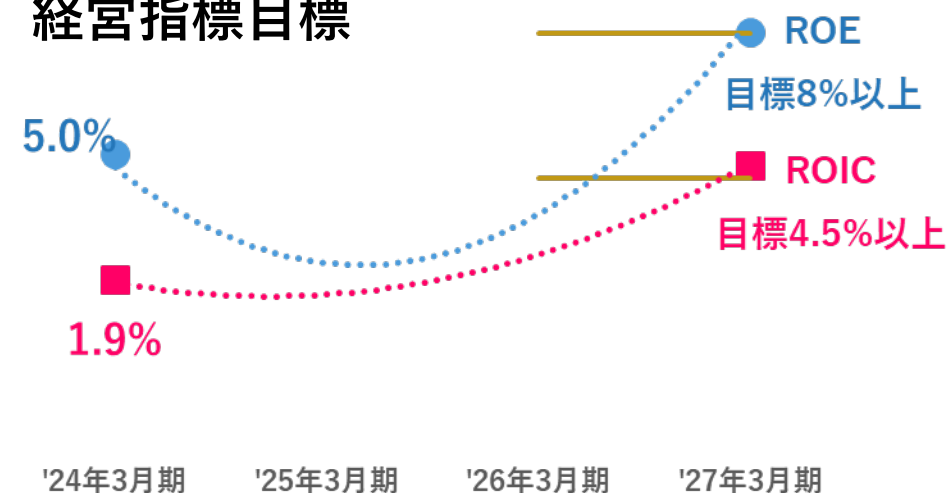
第二次中期、最終年度での過去最高益更新目標

参考：'22年3月期、営業利益51.9億円

第一次中期導入設備のフル稼働により投資を抑える

参考：第一次中期実績3カ年累計166億円

経営指標目標



第二次中期、最終年度目標

ROE 8%以上

ROIC 4.5%以上

PBR 1倍に対応した指標

当社算定：資本コスト 8% / WACC 4.4%

今期の業績予想など将来に関する記述につきましては、現時点で得られた情報に基づき算出しており、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は業況の変化などにより、将来に関する記述と大きく異なる場合があります。

また、当社はこの資料の発行後、適用法令の要件に該当する場合を除き、将来に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

